

審査委員特別賞 (株)サンワコン“傾くと玉が転がる傾斜検知器”



(株)サンワコン

安-28

傾くと玉が転がる傾斜検知器

「道路からの目視点検を主とする道路パトロール」で、道路から見えないため監視できなかった箇所の変位を監視できるようにする機器。「対象が傾くと玉が転がり、転がった玉が斜面下部の道路まで転がってパトロール者にお知らせする」単純明快な機器。電源不要でメンテナンスも容易。目視点検やき裂を挟んだ鉞間計測で不安がある現場や、計器を設置したがその周辺も本当は監視しなかった現場などへの設置が考えられます。



傾斜検知器の外観(蓋を外した状態)

担当部署 開発部

担当者 岡島 尚司

TEL 0776-32-6165(直通) FAX 0776-36-3300

傾くと玉が転がる傾斜検知器

水平調整したステージの上に玉(検知玉)を載せ、その上に重り板を載せます。重り板の上にも玉(連絡玉)を載せます。対象が傾くと検知玉が転がるので重り板が移動・転倒し、連絡玉が落ちます。連絡玉はホースを通して斜面下部まで転がり赤旗を出します。

とことん現地調査するためのツール

写真に情報を書き込んだり、写真と写真のつながりを表現する新感覚現地調査ソフトウェア。より正確な現地の状況をその場で迅速に収集・整理。もちろん、GPSによる軌跡や位置表示も可能。他にも気が利く機能満載。作業効率がアップ、さらに情報の質と量がアップ、さらにお客様の満足度アップがねらえます。

岩塊に2箇所設置した例 →



← 水平面の上に検知玉(3個)を置いた状況。この上に重り板と連絡玉を載せて、蓋をかぶせて設置完了。玉の径は約10mm。



← 地図に作図した図形に写真を関連付け、その写真に作図して写真関連付け、さらに・・・

<http://www.sanwacon.co.jp/>